**第１４回市民自治推進委員会　まちづくり部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 平成３０年　７月３０日（月）　１８時３０分～ |
| 開催場所 | 登別市役所　２階　第２委員会室 |
| 出席者 | （部 会 長）中原　義勝（部 会 員）山田　正幸、渡部　雅子、川島　雅司、工藤　隆行（庁内委員）田中　道郎（庁内委員兼事務局）笠井　康之（事 務 局）伊藤慶一郎 |
| 欠席者 | （副部会長）成田　育磨（部 会 員）田中　寛志、稲葉　一彦、髙橋　達朗 |
| 議　　題 | まちづくり部会の今後の取組方針について |

協議の概要

平成３０年６月１３日（水）に開催した第１３回まちづくり部会では、同部会における今後の取組の方向性について協議したが決定には至らなかったため、前回の意見を別紙レジュメ（配布資料）に要約し、レジュメとレジュメ以外にも意見を出してもらいながら今後の方向性を検討する。

●協議事項

（レジュメの内容について）

（１）「協働のまちづくりセミナー」

・学生は発想が豊かで斬新な意見を持っており、そのような若い人達と触れ合うこ

とで新たな発見も期待できるので、やはり若い世代を取り込む仕組みが必要では

ないか。

・「まちづくりは人づくり」と言うが人材育成を行う上で、そのような人材を活躍

させる場も必要である。

（２）「国際交流の推進」

（３）「ちょっと暮らしの活用」

（２）～（５）については

意見が無かった。

（４）「市役所新庁舎の建て替え」

（５）「市制施行５０周年に関連する取組の実施」

（レジュメの内容以外について）

　・協働のまちづくりを進める上では市民活動が欠かせないと思うが、市民はどこに

どういう分野の講師がいるか把握していないと思うので、講師登録（データ化）

を促進し人材バンクを充実させるなど、人材の発掘に寄与する取組はできないか。

　・発掘した人材に、まちづくり部会の協議に加わってもらうことで、新しい視点で

の意見が聞けるのではないか、そして様々な分野の視点から行政課題について話

し合えれば、おのずとまちづくり部会が取り組むべき方向性も見えてくるのでは

ないか。

　・ＰＴＡなど、学校を通したまちづくりや地域の活性化という形もあり、ＰＴＡ役

員を巻き込んでいけないか。

●決定事項

・本日の部会で出された意見を事務局で整理し、課題や課題解決に向けて実施でき

る取組、また、それによって得られる効果等をまとめ、次回の部会で提案するこ

ととなった。

【次回会議】

　・日程：平成３０年１０月１６日（火）　１８時３０分から開催する。

　・内容：本日に引き続き、まちづくり部会の今後の取組（案）について協議する。